

生涯学習審議会資料

府中市生涯学習センター 講座内容について

1. 【教養・生活実技講座について】

- ・第3次府中市生涯学習推進計画に沿って年間計画を策定した。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大の継続により、当初の策定計画を大幅に見直すこととなった。また、緊急事態宣言の発令に伴い、今後の講座策定に支障をきたすことは大である。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止中でも生涯学習機会を与えられるよう、定員も大幅に減らして実施した。
- ・直営時より講師をされている方の講座を見直し、「学び返し」にふさわしい講座・市の生涯学習の情報発信基地として、「ゆりかごから墓場まで」にふさわしい『乳幼児・学齢期・社会人・高齢者すべての年齢層を網羅した』講座の策定を行なった。
- ・講座の講師とは、常に受講生の反応や学習の進捗状況を密に連絡しあって、引き続き良好な関係を築いている。
- ・市内および近隣において活動する人材とのネットワークを構築するため、新型コロナウイルスの感染が拡大する中においても、ボランティア入門講座や乳児対象の講座企画に協力いただいた。
- ・市民企画講座については、募集要項を掲載する前に新型コロナウイルスの感染拡大により、中止を余儀なくされた。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、中止になった講座数は年間計画で羅列すると、以下の通り講堂講座6講座（1～6）をはじめ、生活実技講座は41講座（7～48）に上る。講堂講座は、過年度の実績から推定して（2.6）は定員290席（募集138名）満席、（5）は130人の集客が見込めた人気講座であったので残念である。

中止となった教養講座（講座講座）一覧
1 オリンピック関連講座 西洋文明とオリンピックのルーツ⇒過年度（平均70名）
2 NHK交響楽団員によるクラシック講座⇒過年度（満席290名）
3 名著再読⇒過年度（平均80名）
4 琉球弧の芸能世界
5 名器ベーゼンドルファーで奏でる演奏とトーク⇒本年度新規講座であるが募集の時点では130名集めた。
6 上野千鶴子が東大祝辞で伝えたかったこと⇒過年度（満席290名）

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、第2期は大幅に縮小を余儀なくされた。教養講座（講座講座）は3講座、生活実技講座は6講座に絞った。
- ・第3期の講堂は通常の定員の約34%（99名）、生活実技講座は定員の50%で実施した。新たな講座として、『楽団に学ぶ管弦楽の夕べ：木管の楽器の魅力、弦楽五重奏の魅力と楽しみ方』は、合わせて6回の講座で延べ人数が約550名に至った。この講座は低価格で質の良い音楽を、地元である桐朋学園大学の出身音楽家を中心に楽団を結成しているユニットを中心に講座を策定した。NHK交響楽団員によるクラシック講座と違い、若年層（30代・40代）の受講生の割合が増加した。尚、講堂講座は前後左右のソーシャルディスタンスを十分にとり、鑑賞いただいている。



- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民の関心がコロナウィルス等の感染症対策に集まっているようで市の方へ「感染症対策関係の講座を開催してほしい」という市民の声があったため、日本感染症協会の協力を得て『感染症の予防及び治療と克服について』と題した特別講座を実施した。開催日は12月19日（土）に講堂で約35名を集め、危機感を募らせた市民からは「聞いて良かった」という声が多かった

2【教養・実技講座開催実績】

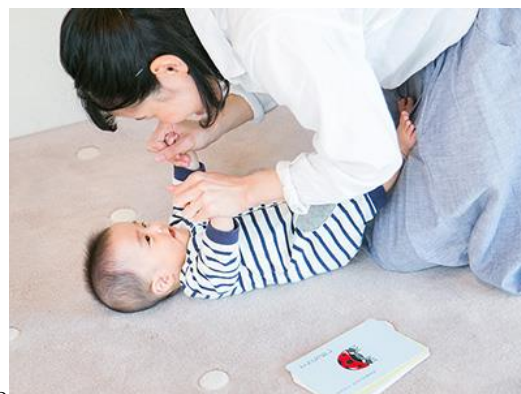
期	講座開催数	開催回数	延べ参加人数
第1期（4月～6月）	0（中止のため）	0（中止のため）	0（中止のため）
第2期（7月～9月）	16	83	252
第3期（10月～12月）	44	310	3,556
第4期（1月～3月）	46	265	2,992
合 計	106	658	6,800

- ・尚、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、第1期49講座（開催数325回）、第2期6講座（開催数60回）、第3期5講座（開催数34回）、第4期10講座（開催数51回）が中止となった。年間で70講座、470回の学習機会が失われた。
- ・全ての世代における学習機会の提供と、長期休みにおける「子どもの居場所作り」を目指し、乳幼児対象のネイティブによる英語講座と、学校の長期休業中におけるワークショップを開催した。いずれも、満員となった。また、全国の生涯学習施設の大きな課題となっている、子ども達へのキャリア教育提供の場としての機能を実現するため、『6歳からのキャリア教育』の講座を新規に立ち上げた。

3.【乳幼児対象講座の実績：0歳児からの英語教育】

期	講座開催数	開催回数	延べ参加人数
第3期（10月～12月）	2	8	48
第4期（1月～3月）	1	4	24
合 計	3	12	72

- ・0歳児から就学前の子どもの年齢や発達に合わせた英語カリキュラムに沿って、歌や絵本、様々な教材を使って、ネイティブ講師と一緒に楽しく自然に英語が身につくような工夫をされていた。海外の文化はもちろんのこと、日本の行事や季節に合わせた内容にも対応し、子どもたちの創造性や好奇心を刺激して、自発的に楽しんで学ぶ力を育むよう工夫されていた。



4. 【ワークショップの実績：春休み企画 スライムと万華鏡】

期	講座開講数	開催回数	延べ参加人数
第4期（1月～3月）	1	2	24

- 学校の長期休みを利用して、生涯学習センターを利用してもらい、日頃は利用頻度の少ない親子がセンターの設備を知り、今後も足を運んでもらうためにも継続したい講座である。学齢の児童は学校があるときには利用がないので、長期休みには積極的に児童・生徒を対象とした講座を策定したい。



5. 【キャリア教育の場の提供の実績：6歳からのキャリア教育】

期	講座開講数	開催回数	延べ参加人数
第3期（10月～12月）	2	6	21

- あらゆる世代・キャリアを持つ講師が在籍する、全国の生涯学習施設では、学校教育では通常の教育課程上、他施設でのキャリア教育は職場体験等に限定されてしまうため、何とか子ども達のキャリア教育の場を提供できないかが、全国社会教育主事会議でも課題の1つとされてきた。当センターでは府中市でキャリア教育に長けた人材を発掘し、講座開講することができた。今後は当センターのアピールポイントの1つとして、この講座を成長させていきたい。



【府中市との共同企画開催：ファシリテーター・サポーター養成講座】

- 初めて府中市とセンターで共同起案し実施した。